

麻生区区民会議 第7回環境・緑化部会 議事要旨

- 1 開催日時 平成23年8月22日（月）午後2時05分～5時40分
- 2 開催場所 麻生区役所4階第4会議室
- 3 出席者 [委員]
天野委員、飯塚委員、大高委員、勝田委員、金光委員、東川委員、福田委員
[事務局]
安生企画課長、阿部企画課担当係長、飯島
- 4 傍聴者 0人
- 5 議事

(1) 区民会議フォーラム開催に向けた取組みの検討について

区民会議フォーラムに対する企画部会からの意見

- ① 区民会議報告の時間を増やしてもっと説明してはどうか。
- ② 趣旨に「意見聴取」とあるが、意見交換の時間はあるのか。
- ③ 講演時間が長いのではないか。
- ④ 準備のための集合時間は開場1時間前の12時でよいのでは。
- ⑤ 環境・緑化部会委員の役割分担を決める必要がある。

【決定事項】

- ・ ①については時間の変更は難しいので、区民会議の説明は委員長の挨拶の中で行い、区民会議報告はパワーポイントを使って専門部会の説明と生ごみアンケートの結果、横浜市への訪問結果の報告を行う。報告者は、専門部会の説明と生ごみアンケート結果は天野委員、横浜市への訪問結果は東川委員が行う。
- ・ ②については趣旨を変更し、意見交換は行わない。
- ・ ③については時間変更を行わない。
- ・ ④については12時集合（時間厳守）とする。
- ・ ⑤については本日の部会の欠席者も含めて各担当者を選任した。
- ・ みどりくんは受付時に渡す。来場者の記帳は行わない。
- ・ 参加者アンケートの設問5の次に、興味を持った発表はどれか（複数回答可）を追加する。
- ・ 写真展の写真募集は委員の声かけや前回出してくれた方への周知などで広報する。
- ・ 生ごみアンケートに連絡先が記載してあった方への広報として、FAXの場合はその旨の一文を入れて送信し、メールの方にはカラー版のチラシを送信する。

【主な意見】

- ・ 事例発表者には依頼通知を送付し、内諾を得ている。配布するみどりくんは当初の100から150に増えた。写真展に写真を送ってくれた方への礼状等も検討する必要がある。
- ・ JAセレス川崎による直売会は梶委員が柿生の直売所に話をしている。野菜が揃わない場合はセレスモスから持ってくるなど検討してもらっている。
- ・ 講演後の質問は意見交換ではない。区民会議への質問が出てきても先生が困る。
- ・ 区民会議への意見聴取は別の機会がある。今回は生ごみについてのフォーラムなので

意見聴取は必要ない。

(2) 麻生区生ごみアンケートについて

【決定事項】

- ・堆肥の「あげます」「もらいます」をモデル事業として実施する。企画書を作成し、生ごみ相談会にあわせて実施できるかを環境局多摩生活環境事業所、麻生区役所庁舎管理者と調整する。

【主な意見】

- ・フォーラムで報告する時には自由記述をいくつか抽出して発表し、生ごみリサイクルの推進へとつなげていく。
- ・生ごみ堆肥を使える方はリサイクルを続けている傾向がある。
- ・堆肥化をやめた理由として虫や臭いが多かったため、その解消を考える必要がある。
- ・堆肥の「あげます」「もらいます」は多摩生活環境事業が実施している古着回収にあわせて行う以外に、月1回の土曜開庁日に行っている生ごみ相談会（午前9時～11時）の場所に持ってきてもらい、登録団体が持って帰る方法もある。
- ・区民まつりは食べ物を出す団体もあり、同会場での堆肥回収は難しいのではないかと。
- ・JAセレサ川崎に対して場所を貸してもらうなどの依頼も検討する。

(3) グリーンアップ・里山ボランティアについて

候補地の下見結果と選定順位が報告された。

【決定事項】

- ・月読緑の保全地域と栗木緑地の2箇所で実施する方向で、最初に道路公園センターと協議してから、公園緑地協会と地元町内会との調整を進めていく。
- ・公園緑地協会や地元町内会と調整する時には企画書を作成し、事務局とともに説明していく。
- ・市政日より11月1日号で広報する関係上、9月中には概要を決定する。

【主な意見】

- ・栗木緑地で実施する時は栗木町内会館を使用できるかもしれない。
- ・公園緑地協会から道具の貸し出しなど日程を早く決めて欲しいと言われた。インストラクターや緑レンジャーなどは交通費が出ないと呼べない。資格を持っている人の派遣を頼むなど公園緑地協会との調整が必要である。
- ・町会で活動している団体に協力を求める必要がある。

(4) 今後のスケジュールについて

- ・次回の部会を9月16日（金）午前9時30分から区役所4階第4会議室で開催する。